

P
R
E
L
S
S
S

公益社団法人 企業メセナ協議会

100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2
第一鉄鋼ビル1階
Tel.03-3213-3397 Fax.03-3215-6222
www.mecenat.or.jp



2011- No. 09
2011年12月20日

東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド



企業メセナ協議会

GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド) 第5回助成活動を決定

震災復興に向けた芸術・文化活動 29 件に 1226 万円の助成を決定

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区丸の内 1-8-2、理事長:福地茂雄[アサヒグループホールディングス株式会社相談役])は、このたび GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)の第5回助成選考会を行い、新たに計 29 活動(一覧は次頁に掲載)を採択、総額 11,226,254 円を助成することを決定しました。これにより、3月23日の GBFund 開設以来の寄付総額は 45,630,969 円(12月20日現在)、助成総数は 89 活動、助成総額は 42,497,834 円となりました。

引き続き郷土芸能の復興事業多数、記録映像やアーカイブ制作も増加

今回は過去最多の 201 件の申請がありました。そのうち被災地の団体からの申請は 34%でしたが、被災地で開催する活動は 8 割を超えました。コミュニティーの絆である郷土芸能の再興を切実に願う案件は今回も多数あり、なかでも新年を控え、東北各地の郷土芸能が継承してきた正月行事の復興をめざす事業が数多くみられました。また、震災復興プロジェクトのアーカイブ映像やドキュメンタリー、アーティストが個別に行ってきた震災関連プロジェクトや作品を一堂に展示する美術展など、記録としての側面を持つ案件も増えました。

被災地との密なかかわりの中で活動を展開

今回の選考会に申請された活動を振り返ると、震災後の初期段階と比較して、実施場所や日程、地元受け入れ先が明確に示されているものが多いことから、被災地と密な関係を築いたうえで、腰を据えて取り組む活動が増えていることが把握できました。また、回数を重ねる試みやシリーズプロジェクトもあり、継続的な活動がみられるようになってきています。

以上

■GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)

GBFund(ジービーファンド、G:芸術、B:文化、F:復興/ファンド)は、2011年3月23日に企業メセナ協議会が立ち上げた芸術・文化による復興支援ファンド。趣旨に賛同くださった寄付者とともに、今後5年間、被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動や、被災地の有形無形の文化資源を再生する活動を支援する。次回選考会は2012年6月を予定。

■公益社団法人企業メセナ協議会

企業・団体による民間のメセナ(芸術文化支援)活動の活性化を目的に1990年2月に発足した公益法人。企業メセナへの意欲を高め、メセナや芸術文化に対する社会の理解を深めるため、1.促進・普及、2.調査・研究、3.情報集配、4.顕彰、5.協力・連携、6.助成等を行う。日本で唯一のメセナ専門の中間支援組織。正会員129社、準会員38団体(2011年12月現在)。

【本件に関するお問い合わせ先】 公益社団法人企業メセナ協議会 広報担当:作田

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 1 階 URL:<http://www.mecenat.or.jp>

TEL.03-3213-3397 FAX.03-3215-6222 E-mail:tsakuta@mecenat.or.jp ※12/29(木)~1/4(水)冬季休業

※実施者・団体名五十音順

第5回助成活動一覧 (※活動内容の詳細については別添書類を参照)	
活動名(実施場所)	実施者・団体名(所在地)
明土権現悪魔払い(権現様の保存と加茂神社例大祭奉納行事)(岩手県)	明土権現(岩手県)
石巻ロックフェス2012(宮城県)	石巻ロックフェス実行委員会(東京都)
大浜の獅子振り・春祈禱復興プロジェクト(宮城県)	大浜地区青年部八日会(宮城県)
片岸虎舞復興プロジェクト(岩手県)	片岸虎舞保存会(岩手県)
被災地の文化財レスキュー(山形県)	学校法人東北芸術工科大学(山形県)
長唄三味線に親しむ会(岩手県)	杵家会釜石支所(岩手県)
2012 堤焼登り窯再生プロジェクト(宮城県)	建築と子供たちネットワーク仙台(宮城県)
光大寺三匹獅子舞復活事業(福島県)	光大寺三匹獅子舞保存会(福島県)
福島から水俣へー記憶と記録とその先のためのプロジェクトー(福島県、熊本県)	特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋(宮城県)
歴史ある「気仙」の文化を継承する「(仮称)気仙学校」のための教材テキストの開発(岩手県)	一般社団法人実践教育訓練研究協会(東京都)
小釜神社例大祭(岩手県)	城山虎舞(岩手県)
権現様による悪魔祓い行事(岩手県)	蛸ノ浦地域公民館(岩手県)
いわき・神戸 高校生プロジェクト@いわき(福島県)	特定非営利活動法人ダンスボックス(兵庫県)
TohokuCraft(宮城県)	TohokuCraft(東京都)
悪魔払い(獅子舞の保存伝承、八坂神社および尾崎神社例大祭奉納行事)(岩手県)	中赤崎獅子舞保存会(岩手県)
永浜の権現様復活事業(岩手県)	永浜契約会(岩手県)
大船渡の紙本修復家支援を通じた地域文化および行政資料の継承(岩手県)	特定非営利活動法人 nature center risen(東京都)
映画「なみのこえ」製作(東北地方沿岸部、宮城県)	映画「なみのこえ」製作委員会(宮城県)
八雲神社祭典、綿津見神社祭典、夏の港まつり、釜石まつり(尾崎神社祭典)(岩手県)	南部藩寿松院年行司支配太神楽(岩手県)
東前太神楽伝承者の育成事業(岩手県)	東前太神楽(岩手県)
Koi 鯉 アート のぼり(福島県)	福島大学 芸術による地域創造研究所(福島県)
プロジェクト FUKUSHIMA! オフィシャル映像記録制作(福島県)	プロジェクト FUKUSHIMA! オフィシャル映像記録実行委員会(東京都)
記憶と記録ー3.11 とアーティスト(仮) (茨城県)	財団法人水戸市芸術振興財団(茨城県)
会津田島祇園祭南会津町(福島県)	南会津町伝統芸能活性化実行委員会(福島県)
失われた風景の中に「くらしの語り文庫」を一記憶の声を声の記録へ(福島県、宮城県)	失われた風景の中に「くらしの語り文庫」を一記憶の声を声の記録へ(宮城県)
大槌・向川原虎舞復興プロジェクト2(岩手県)	向川原虎舞風虎会(岩手県)
桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英会 「芸術・文化課程への進学援助」(岩手県、宮城県、福島県)	桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金 事務局(大阪府)
陸中弁天虎舞(岩手県)	陸中弁天虎舞(岩手県)
巖島神社まつり 正月元旦の初踊り(岩手県)	両石虎舞保存会(岩手県)

東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド



企業メセナ協議会

第 5 回 GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)助成活動一覧

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
明土権現悪魔払い(権現様の保存と加茂神社例 大祭奉納行事) 明土権現(岩手県) 毎年お正月の悪魔払い、加茂神社五年例大祭 明土地区および大船渡市全域	大震災で権現様(獅子頭)や太鼓、装具等はすべて被災したが、幸い権現様は流失を免れがれきの中から見つかった。明土権現は子ども主体のかわいらしい「子ども権現」で、大人は笛や太鼓のサポート役。毎年元旦、幼児から高齢者までが権現様を奉る収蔵庫に集まって町内を一巡、悪魔払い(獅子舞)を行い賀茂神社に奉納してきた。破損した権現様を修復し、震災復興と無病息災を祈願する悪魔払いの一日も早い再開をめざす。
石巻ロックフェス 2012 石巻ロックフェス実行委員会(宮城県) 2012年10月 サン・ファンパーク(石巻市)	石巻ロックフェス実行委員会は震災後の5月に結成。ボランティア含む約60名体制で10月に第1回フェスを実現し、東日本を代表するライブハウスバンド26組、観客2000名が参加した。その名の通りRock(石)and Roll(巻)なまちで、ライブハウスのダイヤの原石に出会える“ロックの聖地”たることをめざし被災地を代表する鎮魂・復興フェスの開催に今年も取り組む。
大浜の獅子振り・春祈禱復興プロジェクト 大浜地区青年部八日会(宮城県) 2012年1月4日以降、毎年1月4日(予定) 宮城県石巻市雄勝町大浜地域	石巻市大浜地区では、毎年正月、神社に氏子が集まって参拝し、「獅子振り(獅子舞)」で地区の家々を回って悪魔を払う「春祈禱」が行われてきた。しかし大津波で地域は壊滅。伝承してきた希少な獅子頭(テレボク)は流され、行事を担ってきた住民も離れ離れに暮らす。獅子頭を造り直して、春祈禱を再開することで郷土芸能を継承し、住民の心の中の大浜をつないで地区の繋がりを維持し、地域の復興再生の大きな力にしていきたい。
片岸虎舞復興プロジェクト 片岸虎舞保存会(岩手県) 2012年10月9、10日(予定)(片岸神社祭典) 片岸神社(岩手県釜石市)	地震と津波により全滅的被害を受けた釜石市片岸地域。200余年の歴史を有し、五穀豊穡や大漁万作の靈驗あらたかとされ、地域全戸をあげて行われてきた「片岸虎舞」も、装束や集会場、倉庫が流され活動が完全に止まってしまった。地域の伝統を絶やすことなく、一日も早く装束を揃えて被災住民の前で迫力ある虎舞を復活披露して、地域の元気を取り戻したい。2012年10月の片岸稲荷神社の祭典に向け、復興への第一歩を踏み出す。
被災地の文化財レスキュー 学校法人東北芸術工科大学(山形県) 2011年12月～2012年3月 東北芸術工科大学文化財保存修復センター	かねてより地域文化遺産の保護活動を推進してきた東北芸術工科大学文化財保存修復センターは、絵画や古文書など多数の資料を保存修復した実績を持つ。震災後は文化遺産の被害状況を調査し、緊急措置と本格的な修復を行う流れを組織化。2011年12月から2012年3月までは、津波の被害を受けた宮城県の高校と陸前高田市立博物館からの図書資料約4000冊と石巻文化センターの美術作品75点の応急措置を急ぐ。
長唄三味線に親しむ会 杵屋会釜石支所(岩手) 2012年4月～2013年3月 三洋館(岩手県釜石市)、市民文化会館(岩手県釜石市)ほか	2002年より、地元在住の講師による岩手県唯一の長唄三味線子ども教室を運営し、教育現場での指導も含め、2400名の子どもたちを教えてきたが、このたびの大津波で指導者は被災・犠牲となり、保管していた三味線と撥はすべて流出した。継続をあきらめていたが、子どもたちから教室再開を望まれ、それが教える側の心の支えにもなっている。被災した子ども、市民、指導者らの励みになることを願い、道具を揃えて活動の再開をめざす。
2012 堤焼登り窯再生プロジェクト 建築と子供たちネットワーク仙台(宮城) 2012年4月～11月 堤町まちかど博物館(宮城県)	藩政時代の仙台北で生まれた「堤焼」は、都市化で衰退し最後の佐大窯の六連登り窯(大正7年築)も昭和50年代で火を落とした。建築と子供たちネットワーク仙台はこれを歴史的建造物として動態保存。子どもが建築やまちづくりを考え、職人とかかわり手仕事の楽しみを体験する博物館として整備し、地域に賑わいをもたらしたが震災で窯が被災。貴重な堤焼遺構を未来に伝えるため、2年かけ子どもたちと職人、大人で窯を修復する。

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
光大寺三匹獅子舞復活事業 光大寺三匹獅子舞保存会(福島県) 2011年11月9日～2012年4月8日 光大寺薬師堂	200年以上の歴史を有する田村市指定無形民俗文化財の「光台寺の三匹獅子舞」は、大地震と余震で奉納舞の披露の場である光大寺薬師堂が傾き、建物下の石垣が崩れる被害が発生した。震災と原発事故の影響で2011年度は年中行事が中止されたが、このままでは地域の宝が途絶えてしまう。復活には建物の傾きと石垣の修繕が不可欠であり、地域全戸で協力して修復を進め、来年の春・秋季例大祭での奉納舞の復活をめざす。
福島から水俣へ—記憶と記録とその先のためのプロジェクト— 特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋(宮城県) 2012年5月～9月 ワークショップ・勉強会:野菜カフェはもる内イベントスペース(福島市新町)、ツアー:熊本県水俣市	「こころのケアは他者が行なうものでなく他者と関わりながら当事者自身が行うもの」との考えから、震災後直面する地域・社会の問題を、福島の子どもたちと写真記録を通じて考えていく。福島県内外でのワークショップや勉強会では水俣を撮り続けた講師に学ぶ。参加者は実際に水俣に赴いて撮影し、地元での撮影とあわせ記録集を作成。他者の心と自らの心に目を向け、客観的に学び、自ら考えることで今後生きていく糧や、支えとする。
歴史ある「気仙」の文化を継承する「(仮称)気仙学校」のための教材テキストの開発 一般社団法人実践教育訓練研究協会(東京都) 2012年4月～2013年3月 大船渡市(教材執筆依頼予定の気仙大工研究所・平山憲治氏住宅)、学校予定場所:岩手県陸前高田市	岩手県南部の沿岸部は古くから「気仙」地方と呼ばれ建都1300年の歴史を持つ。出稼ぎ大工として全国で腕を振るった「気仙大工」は、平泉黄金文化の「彦金遺跡」「気仙杉」「気仙船大工」とともに独自の文化を生んできたが、震災によって伝統大工建物が流失。多くの工務店や職人の被災、訓練校全校の被災等で、気仙の伝統文化の継承が危機にある。気仙大工の伝統を継承し文化を伝える「(仮称)気仙学校」の再生・立ち上げ構想にあわせ気仙の歴史文化を伝える教材テキストを作成する。
小鍬神社例大祭 城山虎舞(岩手県) 2012年9月22、23日 小鍬神社境内((岩手県上閉伊郡大槌町)、大槌町内一円)	1996年発足の「城山虎舞(しろやまどらまい)」は、大津波の被害で、会館・虎頭・太鼓・山車・衣装・小道具等が被災。しかし、子どもや若者が将来的に虎舞を伝承していくことが大槌町復興再生の原動力となるとの信念で2011年秋の祭典で見事に復興の一步を踏み出した。引き続き道具を揃え、復帰が決まった児童・生徒とともに2012年の大祭をめざす。
権現様による悪魔祓い行事 蛸ノ浦地域公民館(岩手県) 2012年1月1日 大船渡市赤崎町字蛸ノ浦地域内 残っている家と仮設住宅、蛸ノ浦小学校校庭	「悪魔祓い」は古くから正月三カ日に地元住民によって行われてきた年頭の祈りと住民同士の絆を確かめ合う行事。獅子舞が地域全戸を廻り新年の厄災を祓う。本来は早朝に神社へ獅子舞を奉納するが、震災を受けて神社は地盤沈下で水没し、参拝や奉納が困難な状況にある。破損した太鼓を修繕し「悪魔祓い」だけでもしっかり行うことで、仮設で離れ離れの地域住民の結びつきも立て直し、蛸ノ浦地区の新たなスタートとしたい。
いわき・神戸 高校生プロジェクト@いわき 特定非営利活動法人ダンスボックス(兵庫県) 2012年3月15日～3月31日 いわき芸術文化交流館アリオス(福島県いわき市)	震災後交流のあったいわき総合高等学校の生徒と、阪神・淡路大震災を経験した神戸の振付師などが、一緒にダンス作品を創作し、成果上演を披露する。高校生の身体に蓄積されている痛みや不安をダンス表現に昇華するとともに、震災後抱える問題を広くいわき市民の方々と共有、アフタートークを実施しお互いの経験を分かち合いながら未来にむけて共に語る場をつくる。
TohokuCraft TohokuCraft(東京都) 2012年4月～2012年12月(予定) 宮城県石巻市周辺にある仮設住宅集会所を中心	被災者が編み物や布を使って思いを形にし、生きる活力をつくりだすワークショップを、石巻市周辺の仮設住宅集会所などで開催する。2011年5月から活動を開始。今回は2012年4月から12月までに5回実施する。現地の講師を招き、子どもからお年寄りまで世代を越えたコミュニティーを形成し、経済的自立に向けたものづくりの可能性も探れるよう、継続して活動していく。

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
悪魔払い(獅子舞の保存伝承、八坂神社および尾崎神社例大祭奉納行事) 中赤崎獅子舞保存会(岩手県) 毎年お正月の悪魔払い、八坂神社(毎年 7 月)、尾崎神社例大祭(五年祭:5 月) 中赤崎地区および赤崎町全域(岩手県大船渡市)	悪魔払いはお正月の伝統行事として親しまれており、住民の交流と郷土芸能の保存伝承のために欠かせない。朝9時に獅子舞保存会(自治組織)会員、小中高生と大人が約 70 名別当に参集。各家庭の庭先で獅子舞を一節舞い「チョイコラサー」の掛け声をあげながら土足で縁側から屋内に入り玄関から出て悪魔を追い出す。震災で獅子頭や太鼓を流失したが、がれきの中から発見し現在修復している。復旧・復興を祈願し悪魔払いを執り行うことで、地域の絆を確かめ合い復興への気持ちを高めていく。
永浜の権現様復活事業 永浜契約会(岩手県) 2012 年 1 月、5 月 永浜地域、赤崎町式年大祭	大船渡市赤崎町永浜地区には、古来入り江西側から部落全体を見守るように部落の守り神様として「巖島神社」が建立されているが、その神輿の先陣を御先払いとして参加していたと考えられるのが永浜の権現様である。5 年に 1 回の赤崎町式年大祭にも新しい神輿の先陣として参加、毎年の正月も部落全戸を子どもたちと公民館若衆が「悪魔払い」として回る風習が継承されている。津波で権現様、大太鼓、子太鼓、鼓、衣装が被災したが修復を進めている。太鼓の修復で活動の復活をめざす。
大船渡の紙本修復家支援を通じた地域文化および行政資料の継承 特定非営利活動法人 nature center risen(東京) 2012 年 1 月～2012 年 6 月 金野聡子氏アトリエまたは福祉センター、宮城県塩竈市役所、東京の図書館(場所未定)	岩手県大船渡市で文書や書類の治療修復事業を行っている金野聡子氏の支援を通し、地域の歴史を振り返り結束を促すための文書の修復を行い、修復処置を施した史料を関連自治体の図書館や博物館等に寄贈する援助を行う。文書復旧では、重要文化財や被災者に戻したい写真類の修復が優先的に進められてきたが、未処置の文書類・書籍類の修復も急務であり、修復作業補助者を募るための技術講習会も開催する。
映画「なみのこえ」製作 映画「なみのこえ」製作委員会(仙台市) 2011 年 11 月～2012 年 9 月 せんだいメディアテーク(宮城県)	震災後いち早く現地入りし津波被災者を丹念に取材し記録した前作「なみのおと」は、山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011 で上映されるなどして注目を集め、高い評価を受けた。今作「なみのこえ」では“体験と伝承”をテーマとし、岩手から福島までの東北地方東沿岸部をまわって被災者の体験をインタビューする他、「みやぎ民話の会」による採話活動の様子を記録する。
八雲神社祭典、綿津見神社祭典、夏の港まつり、釜石まつり(尾崎神社祭典) 南部藩寿松院年行司支配太神楽(岩手県) 2012 年 4 月、6 月、7 月、10 月 只越町只越集会所が震災で流されたため、胴取(代表者)宅他周辺の会員宅等を使用	毎年 10 月第 3 日曜日の「釜石まつり」は、2 神社の神輿が合同で市内を渡御し、お供の神楽や虎舞が練り歩く勇壮な祭り。「南部藩寿松院年行司支配太神楽」は、元禄 12 年より常に祭典の守護職として先達・露払いを務めてきたが、震災で只越地区は跡形なく流失。半纏や太鼓、衣装、道具を失った。仮設で住民がばらばらになり、悪魔払いでの地域住民との交流もかなわなくなったが、2011 年の釜石まつりは衣装・道具が不十分ななか参加。団結し地域住民に元気・勇気を与えられた。今後の祭りは揃いの半纏姿で元気に踊り地域の復興再生の力になりたい。
東前太神楽伝承者の育成事業 東前太神楽(岩手県) 2012 年 6 月、10 月 岩手県釜石市(綿津見神社祭典 尾崎神社祭典・釜石祭り)	地元の青年たちによって長く伝えられてきた釜石市の「東前太神楽」は、「東前太神楽の舞」と「東前七福神の舞」から成る。後者を担うのは子どもたちで、小学 2 年生から 6 年生の生徒らが黒天や弁財天に扮して招福を祈願する。その子どもたちの衣装が 3 月の大津波ですべて流されてしまった。子ども用の印半纏などを新たに揃え、子どもたちに伝統の担い手としての自覚を持たせ、郷土芸能の保存と伝承をめざす。

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
Koi 鯉 アート のぼり 福島大学 芸術による地域創造研究所(福島) 2012年3月12日～5月31日 福島空港ターミナル、空港公園(福島県石川郡玉川村)、いわき市立美術館、郡山市立美術館、福島県立美術館、福島県立博物館、	震災発生後の3月以降、震災の被害を受けた幼児、小学生に対し「鯉アート」のぼりをテーマに活動を行ってきた。鯉は里の魚。里は田(農地)の神を土(杜)で祭る。子どもたちの立身出世、成功を祈願した「鯉の滝昇り」の図柄もある。鯉が龍となるよう明日に向かって登るエネルギーを子どもたちと育みたいとの願いから、大規模な展示会と講演会、ワークショップ、パフォーマンスを実施する。外で遊ぶのが難しい状況下、子どもたちの内なる思いを発露させるとともに、福島復興のシンボルとして活動の展開をはかる。見えないものによる不安を、見えるものの力で元気づける。
プロジェクト FUKUSHIMA! オフィシャル映像記録制作 プロジェクト FUKUSHIMA! オフィシャル映像記録 実行委員会(福島) 2011年12月16日～、2012年3月～5月 撮影:福島市、郡山市、沿岸部等福島県複数カ所、上映:フォーラム(福島市)、いわき burrows、Peak Action (郡山)、渋谷 UPLINK、吉祥寺バウスシアター等	「FUKUSHIMA」の問題を世界の人々と共有すべく活動する「プロジェクト FUKUSHIMA!」唯一の、オフィシャル映像記録を制作するプロジェクト。単なる記録映画ではなく、ありのままの福島を伝えることで、多くの人々と原発事故による放射能汚染問題や今後の社会のあり方について探求することを目的とし、福島市民との意識共有や国外へのアピールをめざす。「プロジェクト FUKUSHIMA!」を推進する著名なプロの表現者と、市井の人々という両面からフクシマの問題を掘り下げる。
記憶と記録—3.11とアーティスト(仮) 財団法人水戸市芸術振興財団(茨城) 2012年10月13日～12月9日 水戸芸術館現代美術ギャラリー(茨城県)	3.11を受けてアーティストら表現者が行なった活動を、被災地における美術館として一所にまとめて振り返る機会を設ける。展示会と記録集というメディアによって、「記憶に残る形」で残すことを第一の目的とする。展示会は、鑑賞者がアーティストの活動を見つめることを通して自らの3.11の記憶を探り、未来へ紡いでいく装置とし、記録集は展示会で紹介しきれないものも含め、活動のアーカイブの書籍とする。アーティストが個々の活動を検証する機会となり、さらなる活動の糧となることも願う。
会津田島祇園祭 南会津町伝統芸能活性化実行委員会(福島) 2012年7月22日～24日、毎年6月9日 会津田島駅前ロータリー(福島県)	800年以上昔から脈々と受け継がれている会津田島祇園祭(国の重要無形民俗文化財)の「しゃんぎり」が、震災により三味線の皮が破れる、横笛が割れる、楽譜が散逸するなどの被害を受けた。しゃんぎりは、子供歌舞伎を上演する屋台でのお囃子を担っており、2011年度はカセットテープの録音伴奏でしのいだ。奏者の高齢化も進むなかで、早急に楽器・楽譜を復旧し、後継者育成に役立てるとともに、来年度以降の完全復活をめざす。
失われた風景の中に「くらしの語り文庫」を一記憶 の声を声の記録へ 失われた風景の中に「くらしの語り文庫」を一記憶 の声を声の記録へ 2011年12月～2012年8月 沿岸部の津波被災地(福島県新地町、宮城県山元町・塩釜市・南三陸町など)	被災体験とともに、失われた、あるいは残された人とくらしの姿を、長年その地域に暮らす語り手が語り、歴史の証言として、音声資料・映像資料・文字テキストを保存するプロジェクト。例えばおじいちゃんの語りを、今後生まれてくる孫がいつでも自由に未来で聞くことができるように、口述資料は話者の手元で傳承され、せんだいメディアテークでも登録保存される。
大槌・向川原虎舞復興プロジェクト2 向川原虎舞風虎会 2012年9月(予定) 小槌神社(岩手県大槌町)	津波で地域が壊滅的な被害を受け、毎年9月第3土日に行われる小槌神社の例大祭は開催が危ぶまれたが、2011年見事に実施された。1947年の発足以来青年が傳承を担い地域の結束力と誇りを高めてきた「向川原虎舞風虎会」も大津波で道具が流出するなか、復活に取り組んだ。次回の祭りでは今後を繼承していく子どもたちが参加できるよう、その衣装を整備する。

実施者・団体名(所在地)／ 活動名／実施日／場所	活動内容
桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英会 「芸術・文化課程への進学援助」 桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金 事務局(大阪) 2012年～2022年 岩手県、宮城県、福島県	「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英会」は、東日本大震災による孤児や孤児の成長を見守り、励まし、教育を受け学ぶ意欲を支えたいとの思いで立ち上げられた。「芸術・文化課程への進学援助」カテゴリでは、音楽、舞台芸術、美術、建築等を専門とする大学、短大、専門学校、高校などに進学を希望する遺児に対し、被災3県の自治体を通じて奨学支援する。東北に蓄積された文化の血脈をもとに優れた芸術を生み出してきた東北の地で、これからの日本の芸術・文化を支えていく子どもたちの学ぶ意欲を支えていく。
大槌、陸中弁天虎舞 陸中弁天虎舞(岩手) 2012年9月(予定) 小槌神社(岩手県)	1974年に大槌町赤浜の若者数十人により結成された「赤浜虎舞」が、その後大槌湾の真ん中に浮かぶ蓬莱島に祀られる弁天神社に、和藤内の大神宮のお札と吉里吉里善兵衛ゆかりの品が納められたことを契機に「陸中弁天虎舞」と改称、現在に至る。開催が危ぶまれた2011年9月の小槌神社例大祭では最低限の道具・衣装で復活できたが、来年の祭りに向け、子ども用衣装や笛、桃灯などを準備する。できる限り陸中弁天虎舞を継承し、後輩や子どもたちに伝えていく。
巖島神社まつり 正月元旦の初踊り 両石虎舞保存会(岩手県) 2012年1月1日、10月25日～26日 両石地域内に残っている家と仮設住宅	漁業を営む船頭衆が巖島神社に奉納する「両石虎舞」は、航海安全や大漁を祈り寿ぐ郷土芸能。秋祭の日、住民は神社に早朝から参拝し虎舞を奉納、その後各家を門打ちして回る。元旦は海岸で新年の初踊り。震災で虎頭が半分に割れ、太鼓、半纏、子どもの振袖等が流出してしまったが、虎頭を修復し、危機的な状況にある集落のつながりを保ち、復興に対する住民の士気を奮い立たせコミュニティーの元気を回復するために虎舞を復活し、2012年元旦に例年どおりの大漁、安全祈願を執り行いたい。